

新視点のヘルスケア学ぶ

本社でライフコーディネーター育成セミナー



参加者がゲームなどを通して新たなヘルスケアについて学んだセミナー＝11日、デーリー東北新聞社

人々の充実した人生や健康を支える役割を担うライフコーディネーター(健康管理者)の育成セミナーが11日、八戸市のデーリー東北新聞社6階メディアホールで開かれた。医師で健康学習学会名誉学会長の石川雄一氏が講師を務め、参加者が新しいヘルスケア事業の在り方について学んだ。

八戸学院大、東北産業、医師でつくる「北東北ウエルネス研究所」とデーリー東北新聞社の共催。企業などの福利厚生担当者や健康に興味がある市民ら約40人が参加した。石川氏は、病

気にならないための予防のヘルスケアが重視されてきたこれまでの傾向に対し、「元氣と病気の調和が大切な時代になってきた」と現状を説明。病気を治すだけでなく、生きがいや人とのつながりに着目した「目標達成型」の健康法を紹介した。参加者は、他人との会話やゲームを通して、人と楽しくコミュニケーションを取ったり、やりがいを持って過ごしたりする姿勢が、元氣に暮らせる健康設計につながることを体感した。

(玉川那津美)